

環境局

一般会計要求総額

16,001百万円 (対前年度 ▲56.1%)

※対前年度の予算減は、主に新日明工場建設事業(約193億円)の完了によるもの

【令和7年度 予算要求の方針】

環境局は、令和6年度に改定した「環境基本計画」の政策目標である

- ①脱炭素(カーボンニュートラル)社会の実現
- ②循環経済(サーキュラーエコノミー)システムの構築
- ③生物多様性の増進(ネイチャーポジティブ)と環境保全の推進」など

を一体的に推進することにより、「世界をリードするサステナブルシティ」を目指すとともに、国内外に発信可能な拠点整備を行います。

【模様替えの考え方】

環境局においては、各施策の進捗状況(フェーズ)やニーズに応じた事業の見直し、既存の施設やイベントの再構築、予算執行の状況に応じた予算額の精査などにより、予算の模様替えを図りました。

令和7年度 予算の基本的な考え方 (新):新規事業 (継):継続事業 (拡):拡充事業

(1) 「稼げるまち」の実現 【上記①②】

再生可能エネルギーの導入加速や水素の供給・利活用拠点化、新たなリサイクルビジネスの創出等に取り組み、市内産業の国際競争力強化やグリーン産業の発展に繋げる「北九州グリーンインパクト」を推進し、世界をリードするサステナブルシティを目指します。

【主な事業】

- (新) (仮称)サステナブルシティセンター整備構想策定事業
- (新) 次世代太陽光を含む再生可能エネルギーの導入可能性調査事業
- (継) 環境スタートアップ集積促進事業
- (拡) サーキュラーエコノミー基盤形成促進関連事業
- (継) 水素拠点化推進事業
- (継) アジア・グリーン共創ハブ推進事業 等



洋上風力発電

Sustainable!
地球温暖化対策、
環境と経済の好循環

(2) 「彩りあるまち」の実現 【上記③】

北九州の豊かな自然環境の情報発信や保全を通じて、生物多様性の損失を止め、回復させていく「ネイチャーポジティブ」に取り組むとともに市民一人ひとりの行動変容を促す取組を推進し、まちの環境力の向上に貢献します。

【主な事業】

- (新) (仮称)ネイチャーポジティブセンター運営事業
- (新) サステナブルアクション推進事業 等



響灘ビオトープ

Sustainable!
生物多様性の増進、
まちの環境力の向上

(3) 「安らぐまち」の実現

ごみの減量・リサイクルの推進や、災害時のトイレ対策、大気・水質等の環境保全等に取り組むことで、市民に安定かつ効率的な都市インフラを提供します。

【主な事業】

- (新) 災害用トイレ備蓄事業
- (拡) 新門司工場基幹的設備改良事業 等



災害用トイレ (参考写真)

Sustainable!
安定した廃棄物処理
インフラ、災害対応

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和7年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
「稼げるまち」の実現					
1	新	(仮称) サステナブルシティセンター整備構想策定事業	15,000	15,000	響灘地区を北九州市のサステナブル(炭素中立、循環経済、自然再興)の国内外に向けたPR拠点とするため、エコタウンセンター・響灘ビオトープなど既存環境学習施設の展示内容、展示方法などの見直しを含めた構想を策定 【模様替えの考え方】 動画の活用や多言語対応など既存の展示内容の見直しを検討する。
2	新	次世代太陽光を含む再生可能エネルギーの導入可能性調査事業	10,000	10,000	将来の展開に向け、経済合理性の観点を踏まえた、次世代の太陽光発電設備である「ペロブスカイト太陽電池」を含む再生可能エネルギーの導入可能性調査を実施
3		環境スタートアップ集積促進事業	5,000	5,000	市内企業の環境分野における課題解決をテーマに、市内企業と全国の環境系スタートアップ企業とのマッチングを目的としたピッチイベントを開催し、環境系スタートアップの集積を推進
4	拡	サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業	8,000	8,000	市内企業や大学等が取り組むサーキュラーエコノミー(循環経済)の取組を支援(地域食品資源リサイクルシステム形成の推進、「北九州市循環経済ビジョン推進協議会」の運営) 【模様替えの考え方】 R5、R6年度に実施した蓄電池リユース・リサイクル事業について、ネットワーク構築に向けた役割を終えるため廃止する。
5		水素拠点化推進事業	21,000	21,000	産学官の協議会において、響灘臨海部を中心とした水素拠点形成を推進し、地元企業の脱炭素化と国際競争力の強化、新たな産業集積につなげるとともに、市内外へ水素拠点化の取組を発信 【模様替えの考え方】 水素拠点形成を着実に推進するとともに、将来構想を検討する。また、社会受容性向上のため市民向けの広報を行う。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

No	新規 拡充	事業名	事業費	一般財源	事業概要及び模様替えの考え方
6		アジア・グリーン共創ハブ推進事業	31,100	31,100	国内外の環境関連企業、投資家等とビジネス面で接点を強化し、企業の技術・製品・サービスの輸出に加え、対日投資を含めた取組を展開 【模様替えの考え方】 新たに人材育成やビジネス面に焦点を当てた環境姉妹都市等の関係深化や戦略的広報事業に取り組む。
「彩りあるまち」の実現					
7	新	(仮称)ネイチャーポジティブセンター運営事業	10,000	5,000	市民、事業者、行政等、多様なステークホルダーの連携により、生物多様性戦略に位置付けた取組を強力に推進
8	新	サステナブルアクション推進事業	11,908	9,000	市民の力でまちの環境力を高めるため、市民一人ひとりの行動変容を促す取組を推進
「安らぐまち」の実現					
9	新	災害用トイレ備蓄事業	3,718	3,718	不測の事態も予想される災害時において、誰でも速やかに運搬・組み立てが可能で、高齢者等でも安心して使用できる車椅子対応のトイレ等を新たに購入
10	拡	新門司工場基幹的設備改良事業	2,888,132	424,596	老朽化した焼却工場の主要設備を大規模更新することで、機能回復を図り一般廃棄物の安定処理を継続
その他の取り組み					
		該当なし			